



まらまら

第53号

今、ひとりひとりが...

「桜梅桃李」という言葉が好き!

それぞれ可憐に咲き使命を果たしながら人々の心を和ませてくれる花・花・花。

一人ひとりが今、居る場所で自分らしく生き、自分らしく「きらきら」と輝いていける21世紀でありたい…。

いきいき未来いが2019を開催しました!!



ドット柄・迷彩柄・花柄・ボーダー柄
4つのテーマで披露

6月22日、あやま文化センターにて「いきいき未来いが2019」を開催しました。

今年、オープニングを盛り上げてくれたのは、昨年も大好評だったあけぼの学園高校ビューティクリエイト部の皆さんです。普段の授業での取組を紹介の後、今回は4つの「柄」をテーマに若さあふれるファッションショーを披露しました。

いきいき交流広場



今年のテーマは「信じよう!活かせる自分の力を♡~私らしくいきいき(粋♡生き)と!!~」です。講師に103kgの恋愛カウンセラーの羽林由鶴さんをお招きし、講演会を行いました。「なりたい自分になる~いきいきと輝く未来のために~」と題した講演会では、羽林さんが幼少期に抱えていたコンプレックスのこと、また自身の半生についてお話をされました。

そのなかで、“「こうしないと、いきいきできない」というものではありません。いきいきと過ごすためには、うずくまって悩んでいる時間を減らすこと”と話された羽林さん。そのことばに、「全くそのとおりだと思う」「考え方を見直し、明日からまた頑張っていきたい」との感想も多く、笑顔あふれる、いきいきとした1日となりました。



編集・発行

伊賀市人権生活環境部人権政策課
〒518-0873 三重県伊賀市上野丸之内 500 番地
TEL(0595)22-9632 FAX(0595)22-9666
(令和元年8月15日 発行)

編集

伊賀市男女共同参画センター情報紙「きらきら」
編集スタッフ 岡 久美子・竹山 佐代子・的場 裕子
宮田 美智子・三山 佳代子

令和元年度の男女共同参画白書が発表されました。

平成 11（1999）年 6 月に男女共同参画社会基本法（以下、基本法という）が制定され、今年で 20 年になります。この間、基本法に基づき男女共同参画基本計画や成長戦略等を通じた様々な取組が進められ、社会全体で女性の活躍の動きが拡大し、日本の社会は大きく変わってきました。直近では、平成 27（2015）年に女性の職業生活における活躍の推進に関する法律（女性活躍推進法）が成立し、日本における男女共同参画社会の実現に向けた取組は新たな段階に入りました。また、女性の教育についてもこの 20 年で高等教育機関への進学率が大きく上昇し、進学先も徐々に多様化してきました。

その一方で、進学や就職などの進路選択には、男女差や相違がみられます。男女共同参画社会のさらなる進展に向けて、人生 100 年時代を見据えた質の高い教育や学び直しは、女性の置かれている現状を踏まえた上で女性の自立・活躍の土台になるものである必要があります。

○女性の教育・学びの進展

女性の高等教育は、高度経済成長期に短期大学を中心とする進学率が上昇しましたが、バブル経済崩壊期まではやや停滞し、その後大学の進学率が上昇するものの、いまだ男性を下回ります。

大学（学部）の専攻分野別男女割合は、特に工学部・理学部で女性の割合が低く、平成 30（2018）年度時点においても工学部では 1 割 5 分、理学部でも 3 割に達していません。

また女性有業者の高学歴化は進んでいます。平成 29（2017）年度時点で大学・大学院卒は 2 割（男性は 4 割）にとどまっています。女性の専門的・技術的職業従事者の内訳をみると、昭和 49（1974）年度は教員が 7 割を超えていたのに対して、平成 29（2017）年度は保健医療従事者が 4 割強、技術者や教員が各々約 2 割となっており、就業分野が多様化しています。

○進路選択に至る女子の状況と多様な進路選択を可能とするための取組

小学生の女子では国語より理科が好きな割合が高いが、中学生になると数学や理科が好きな割合が低下し、自身を「文系タイプ」と回答する女子が多くなります。OECD（経済協力開発機構）の調査によると、日本の女子の科学的リテラシー及び数学的リテラシーの点数は、諸外国の男子、女子と比べると高くなっているため、女子の理系回避は成績ではなく環境が影響していると考えられます。多様な進路選択のためには、学生・生徒が固定的性別役割分担意識等にとらわれず、主体的に進路選択するためのキャリア教育の充実や、女性研究者が働きやすくすることが大切になります。

○社会人の学び

企業における人材育成は正社員が中心であり、非正規雇用労働者の割合が男性より高い女性は、初期の段階から学びの機会が限られています。また、管理職育成を始めるタイミングが出産・子育てのピークに重なり、育児等の負担が女性に偏っている日本では、女性が管理職に必要な経験を積むことができない現状にあります。このため働き方の多様化に応じたきめ細やかな雇用管理や研修・人材育成のためのマネジメントが大切です。

○学びの充実を通じた男女共同参画社会の実現に向けて

家事・育児の負担が女性に偏っていることや、固定的な性別役割分担意識が社会人女性の学びを制約し、男性中心型労働慣行が女性の進路選択に影響していることが考えられます。専門的・技術的職業分野の多様化に対応したリカレント教育を推進し、慣行を見直し、女性のやりがいを引き出すことが大切です。また、地域で多様な学びが選択できるようにすることや、地域で学びを活かす場を作っていくことも重要です。



（男女共同参画係）

お知らせ

悠々セミナー

マインドフルネス

～元気に楽しく前向きに生きる秘訣～

日時: 9月24日(火) 13:30~15:00

場所: ハイトピア伊賀 5階多目的大研修室

講師: 産業カウンセラー 阪岡智子さん

対象者: どなたでもご参加ください。

おとこの料理教室

男がつくる 簡単**祭**り膳

日時: 10月5日(土) 10:00~13:00

場所: ハイトピア伊賀 4階調理実習室

講師: 松永啓子さん

対象者: 市内在住の料理初心者の男性

ストレス対処セミナー

ストレスに効くセルフケア

～健康で働き続けるために～

日時: 10月8日(火) 19:00~21:00

場所: ハイトピア伊賀 4階ミーティングルーム

講師: 臨床心理士 伊藤厚子さん

対象者: テーマに関心のある
伊賀市在住、在勤の女性

自分の心を整えて、
元気に働き続けましょう♪

